

●会誌 52 号に初めて原稿をお寄せいただいた皆様ありがとうございました。おかげで 160 頁を超えた冊子の発行ができました。

里山の会の定款で目的を次のように掲げています。今一度、ご確認下さい。

目的 3 条 この法人は広く市民と共に、里山の自然環境の観察・調査活動や里山を構成する田圃での農・林業体験学習事業を通じて、自然環境の保全とその啓発を行い、公共の福祉と地域の活性化に寄与することを目的とする。

活動の種類 1. 社会教育の推進を図る活動 2. まちづくりの推進を図る活動 3. 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 4. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 5. 環境の保全を図る活動 6. 子どもの健全育成を図る活動 7. 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

事業報告 5 条 1. 自然環境の調査・研究 2. 自然環境全般に関わる講演会・展示会 3. 体験学習会・里山大学の開催 4. 自然環境及び農山村の原風景の保全活動 5. 自然環境全般に関わる会報及び出版物の発行 6. その他この法人の目的に沿う事業。

●木津川出張所長との話し合い 2022 年 5 月 27 日 NPO やましろ里山の会 申し入れ内容 案出来る

- ①河川協力団体の活動紹介 希少種植生調査管理業務 生育調査 除草作業
- ②木津川流域センターの充実(電話、印刷 事務所使用 屋外天井)
- ③流域センターの雨漏り対策が必要 床水除去道具設置されている
- ④展示できる場所が狭いので展示場使用可能な部屋の充実 改装含む(2 階倉庫の使用)
- ⑤防災倉庫に水没ドアの常時設置・木津川堤防工事状況パネル設置・と公開
- ⑥右岸プロムナードの開設(開橋～玉水橋)。国道 24 号線の歩道
- ⑦玉水浜通路の確保 洪水被害時の復旧 中聖牛の点検観測
- ⑧20.5K 付近 木津川の山城町大川樋門下流の河川敷浸食場所対岸の説明
- ⑨魚とり会場への通路の草刈り 右岸 開橋 山城大橋下流 左岸 草内渡しの浜(普賢寺川河口)
- ⑩魚とり 普賢寺川河口での広場確保 除草作業
- ⑪イタセンパラの復活への取り組み説明 ワンド周囲の整備
- ⑫炭焼き原木の提供 長さ:1.1m、直径:140mm 以内、軽トラック:4 台分 希望 12 月中旬 樹種:クヌギ、コナラ、(希望) 伐採木の再利用
- ⑬従来の堤防景観の維持がされるよう堤防工事を行ってください セイバンモロコシの繁茂
- ⑭鳴子川の水路の復元(工事以前に)
- ⑮玉水橋下流の溜まりへの本流水の流入確保実現を 二枚貝の繁殖のため
- ⑯開橋下の残念石の通年観察確保対策の実施



昨年のお原木

●ヤマトサンショウウオ生育池が再び水の流入が止まる

前回の流入ストップが発生したのでその経験を生かして流入口に集まってくるゴミやヘドロが集中しないように対応を施しましたが、取水口から流入が止まって干し上がってしまいました。現在の対策では予期しない形で流入水が止まってしまうことになるようです。なかなか原因を特定できないようです。肝心なことは現地現場に出掛けて観察を繰り返すことです。すいすい流れなくても染み出る水が流れる程度の循環が確保されると適量とのことです。止まらないで流れているようにしなければならぬので微妙な細工が必用です。これで生育池は二度目の干し上がりを経験しました。絶滅危惧寸前種のヤマトサンショウウオ(旧名カスミサンショウウオ)の卵嚢期にこれま

で数年間にこうした環境の変化が幾度も繰り返していた中で生育が継続されてきたのではないかと思います。きっとこうした厳しい所を乗り越えて生き残ってくれるのではないかと思います。

●**里山農園で5月に果樹のなる樹木を植樹**(4月30日)してみましたところ、5月20日になって一気に気温が暖かくなってミカンの小粒の実がなりました。たくさんなりました。土地に根ついてくれたのでしょうか。このままにしておくと、肝心の茎を太く強くするところに栄養が回らなくなるので、数個を残して摘果を致しました。暑い夏・水不足が心配されるのを乗り越えて育ってくれるのではないのでしょうか。周囲の雑草に栄養分が吸い取られないように、適当な草引き(手入れ)が必用になるのではないのでしょうか。

●**6月の予定**は次の通りです

6月4日 ヤマトサンショウウオの現地事前調査 竹門康弘先生 助手 太田、播川

6月11日 城陽市教育委員会より 魚とり指導の依頼 山城大橋下 9:00~助手 森島、播川、有田

6月18日 ホタルの集いと音楽会 16:00 里山農園 詳細は後日ニュースで

6月19日 ヤマトサンショウウオ生育池付近の生物調査(櫻谷先生来所)

自然環境保全ネットワーク一行 来所

6月下旬 昆虫観察会、植樹祭(開催予定)

●**会誌52号の発送が実施されました。**大村さんや森島さん、太田さん、播川さんに加えて、篠原さんはお子さんの面倒を見ながらの背表紙取付けや貼り付けなどの手作業にご奮闘をいただきました。ご苦労様でした。

●**堀宏実さん 里山農園で溝の泥上げで**大奮闘をいただきました。男でも重労働なので手のでない作業です。ここはもともと稲作りであった田圃なので排水装置が比較的簡単にしてあったところなので、畑作物に適さない土地なので、奥の山から染み出



てくる水を排水しなければなりませんので、里山農園の排水溝は草刈りを行って、溝にたまった泥などを除去しなければなりません。必要性はわかっているけども重労働なのでこれまで行ってきませんでした。それに気付いて堀さんが大奮闘いただきました。きれいに溝が出現しています。腰などを傷めないようにしてください。ご奮闘有難うございました。

●**里山農園でササユリのつぼみがついているのが4本発見されました。**

いつも里山農園の自然の移ろいを注意深く観察しておられる金田さんが写真に納めて頂きました。里山農園を開拓して以来、9号地の斜面の草刈りを行うと始めて芽を出してくれました。その後いろいろアクシデントを踏まえて5年目になって同じ場所で蕾が出来ました。それも1本の茎に5つも蕾が付いています。

